



宮寺小だより

かしこく なかよく たくましく

令和7年度 第6号

9月30日 児童数215名

入間市立宮寺小学校

入間市宮寺594-1 電話 2934-2014



きれいなことば ～折り返しの10月、今すべきこと～

宮寺小学校 校長 塩澤 榮一

先日の土曜参観には多くの方にご来校いただきました。ありがとうございます。「楽しい授業」への取り組みを見ていただきました。今後も全職員で学び続けます。また、教育長様の講演会では本校の子供たちの実態を踏まえた、たいへんわかりやすいお話をしていただきました。そこで、学校としても折り返しの10月に、見直しをし、学校と家庭が連携をして取り組むべきことを整理します。ご協力をお願いします。

1学期に行った諸調査によれば、本校の子供たちの学力は概ね県や市の平均レベルです。こちらは「認知能力」と呼ばれるものです。一方「非認知能力」と呼ばれるものは、県や市のレベルよりも高くなっています。この「非認知能力」とは、意欲・意志・情動・社会性に関わる能力で学力・知能検査では測定できないものであり、協調性、粘り強さ、忍耐力、自制心、創造性、コミュニケーション能力などが含まれるとされています(文部科学省)。本校の子供たちはこの大きな力を持っています。それをもとに子供たちをさらに成長させるには「認知能力」の育成です。そのために、学校では「楽しい授業づくり」を推進します。そして、授業で身につけた力を定着させるためにも家庭学習を大切にします。そこで、あらためて1・2年生20分、3・4年生40分・5・6年生60分の家庭学習をがんばろうと声をかけていきます。今後、具体的な取り組み例も紹介していきます。そして、もう一つ、気になったことが家庭でのゲームや動画、インターネット等にかかる時間です。「20時以降にしていた」と答えた子が多くみられました。また、それにかけている時間も気になります。その時間を絞り込んで家庭学習の時間を確保する。それで、「認知能力」は高まります。学校と家庭が連携をして、夢に向かって努力する子供たちを育てていきましょう。10月は「市内体育祭」や「運動会」のがんばりも楽しみです。

音楽朝会で発表した5年生



校長の学び「今月の読書」



岸部は思わず大声を出してしまった。『広辞苑』は、『男』を引くと『人間の性別の一つで、女でない方』、『女』を引くと『人間の性別の一つで、子を産み得る器官をそなえている方』と説明しています。『大辞林』の場合、『男』は『女を妊娠させるための器官と生理をもつ方の性』、『女』は『子供を生むための器官と生理をもつ方の性』という説明です。岸部がそう言ったからか、宮本は首をひねった。「ええと、ニューハーフを入れた方がいいとか、そういうことですか」「性別を二分して説明するのが、生物学観点からしても、やや時代遅れなのではないかと。」「舟を編む」三浦しをん

NHKのドラマの原作です。テレビとはひとあじ違った読み応えでした。国語辞典は進化している。今に合ったものを選ぶべきなんだと学びました。